

結露防止システム「ノン結露」施工要領書

「ノン結露」は下塗り材 7 kg・仕上げ材 15 kg の 2 種類の塗り材を 1 セットとして出荷しております。

この 1 セットで、結露発生面に対し 20 m² の以内面積で使用して下さい。

ただし、冷蔵庫・冷凍庫周辺の結露、冷水管等結露発生の激しい場所は 10 m² 以内の面積で使用してください。

(塗装厚が厚いほど効果を増します)

※結露発生の激しい場所での使用、施工環境及び施工に関する不明点は、必ず販売店へご相談ください。

※ノン結露の本施工前に、ノン結露シートにて事前テストをお願いします。(仕様：15 m²/セット)

塗装面が湿った霧囲気、結露霧囲気にある場合は塗装できません。また塗装後、結露発生霧囲気にならない状態で 1 ヶ月以上の乾燥が理想です。十分な乾燥後に能力を発揮します。

下準備 塗装をする前に塗装面を、送風機等で十分に乾燥させてから塗装作業に移って下さい。

(結露あるいは水分を含んだ所に塗装すると剥離の原因となります)

塗装具 刷毛・ローラー・エアーガン・エアレスガン・温風低圧塗装機で塗装できます。

攪拌 電動攪拌機(大きい羽)にて下塗り材、仕上げ材それぞれ十分に(3分以上)攪拌して下さい。(セラミックと樹脂が分離していますので攪拌は必ず行って下さい)

攪拌羽はこのタイプの物が最良です。



I 素材は必ずケレン・清掃・洗浄(高圧洗浄)・カビ処理等を行い、素材に合った下地処理材で処理をして下さい。

(下地処理材) コンクリート面はシーラー・フィーラー(下地調整材)、鉄部は変性エポキシ錆止め塗材、被塗物は密着バインダー等をお勧めします。

II 仕上げ材 ノン結露仕上げ材 (0.75 kg/m²)

塗装回数：必ず 2 回以上に分けて塗装して下さい。 乾燥時間：20 時間以上(20 °C)

希釈量 刷毛、ローラー：0～1,500cc ガン吹き：0～3,000cc (1 缶当たり)

III (乾燥) 自然乾燥にて十分な乾燥時間を取って下さい。施工環境により、やむなく強制乾燥する場合は、送風・ジェットヒーター等で、緩やかな乾燥を行なって下さい。

〈特記事項〉 **本塗料は塗装乾燥後でも塗膜表面はやや柔らかく、塗膜に傷をつけないように取扱に注意が必要です。雨天、強風、多湿の日を避け、天気の良い日を選んで塗装して下さい。(水性塗材ですので、気温5°C以上、湿度65%以下の環境で施工して下さい。)**

※ノン結露の塗膜表面が、若干湿った感じになりますので「抗菌・防カビタイプ」をお勧めします。

※仕上げ材・下塗り材共に製造後 3 ヶ月以内に使い切ってください。

※取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護マスクを着用して下さい。また、塗装中、乾燥中ともに換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。

平成 26 年 9 月 株式会社日進産業